



「加古川清流戦」

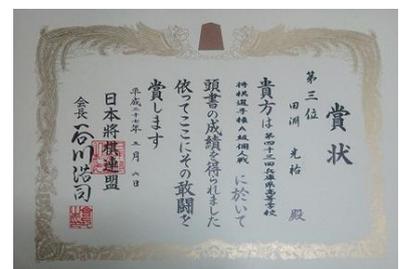
「加古川の有名なことは？」と聞かれて、皆さんは何を思い浮かべられるでしょうか？“カツメシ”、“レガッタ大会”、“鶴林寺”・・・。加古川市が力を入れているのが、「棋士のまち」です。平成21年11月、加古川市で「将棋の日」イベントが2日間にわたり開催されました。加古川市出身の久保利明氏（当時2冠）や、全国的に知名度を誇る羽生善治氏（当時3冠）、女流棋士ら15人のプロがファンと交流し、加古川市民会館を舞台に久保2冠と羽生3冠の公開対局には長い列ができました。訪れた人は棋界としては当時過去最高の延べ約3200人に上りました。

その後、加古川市が市ゆかりの将棋プロ棋士5名が活躍中であることから、「棋士のまち加古川」を全国に発信しようという気運がますます高まり、加古川市は若手棋士の登竜門となる新たな日本将棋連盟公式戦「加古川清流戦」を平成23年度に創設しました。名称の「清流戦」は、一般公募の中から選考され、出場資格が若手を対象としているため、それを連想させる名称となっています。

第1期優勝者は、船江恒平氏四段。第2期優勝者は、永瀬拓矢氏五段。（ともに段位は当時のものです）

また、棋界の有名戦である第23期竜王戦第4局や第60期王将戦第4局、第61期王将戦第4局を誘致するなど、「棋士のまち加古川」を全国に発信しています。

ここで、加古川北高校将棋部の活躍をご紹介します。5月6日に県立尼崎稲園高校で、兵庫県将棋選手権の個人戦（上位2名が全国大会出場）が開催されました。1年次生の生徒がA級個人戦に参加し、3位に入賞する活躍をしています。まだ、1年次生ということですが今後が楽しみです。



ぶらり加古川 第4号

平成27年6月